

平成30年度 重点目標を達成するための行動計画(アクションプラン)

高岡市立志貴野中学校

【重点目標】 「思いやりと感謝の心を大切にし、互いに協力し合い、大きな夢の実現を目指す生徒の育成」
 —あらゆる場面で「まじめがかっこいい」志中生を目指して—

時：チャイム着席を確実にやっている。 90%以上
 場：10分間集中して清掃に取り組んでいる。 90%以上
 礼：進んで挨拶を行っている。 90%以上
 責：学び合い高め合いながら学習に取り組んでいる。 90%以上

前年度

—昨年度より、本校の行動目標である「時場礼責」に当てはめた目標を設定し、生徒の学力向上と社会性の向上に努めてきた。昨年度は、4つの項目全てで、設定した数値目標を達成することができた。しかし、どの項目においても教員と生徒の評価結果に大きな差が見られた。今年度は、引き続き、行動目標「時場礼責」を意識した目標を設定する。特に、生徒が高い目標をもち、活動することができるように、PDCAサイクルを生かし取組を工夫していきたい。

行動Ⅰ

「時」「責」
 < 学力の向上 >

- ①生徒が、落ち着いて学習に取り組める環境を作るために、目的と目標を明確にし、生徒会を中心に、チャイム着席運動の取組や評価を工夫する。
 (教師はチャイムと同時に授業をはじめ、チャイムと同時に授業を終わる。)
- ②生徒が、学びの見通しをもち、互いに関わり合いながら、深い学びを実現するために、「教えて考えさせる」等の授業改善に努める。

「場」「礼」
 < 社会性の育成 >

- ①生徒が、進んで挨拶ができるようになるために、生徒会の挨拶運動や道徳の授業等の充実を図る。
 (教師から進んで挨拶を行う。)
- ②生徒が、清掃に真剣に取り組むことができるようになるために、清掃することの意義や大切さについての理解を深め、自分たちの生活の場(学習環境)を整えようという意識が高まるような指導を工夫する。

中間評価

- ◇在り方集会(生徒、生徒会役員による評価)
 全校生徒で成果を共有し、次のステップへの活動意欲となるよう支援する。
- ◇学校評価(生徒、保護者、教職員による評価)
 調査結果の肯定的な評価が90%以上となるよう努める。
 (90%以上であれば行動計画を継続・発展、90%未満の項目については、行動計画を修正、再考し対策を練る。)
- ◇学校評議委員会での提示・検討(6月、10月)
- 公開の仕方
 評価結果(成果、課題、顕著な例)を学校だよりやHP、保護者会等で提示する。

行動Ⅱ

「時」「責」
 < 学力の向上 >

- ①②は継続
- ③生徒が、授業を通して、関わり合い、考えを深め、高め合うことができるように、研究授業等を通して、授業改善に努める。

「場」「礼」
 < 社会性の育成 >

- ①②は継続
- ③生徒の環境美化に対する意欲がさらに高まるように評価活動の充実を図るなど、活動を工夫する。

年度末評価

- ◇在り方集会(生徒、生徒会役員による評価)
 全校生徒で成果を共有し、次のステップへの活動意欲となるよう支援する。
- ◇学校評価(生徒、保護者、教職員による評価)
 調査結果の肯定的な評価が90%以上となるよう努める。
 (90%以上であれば行動計画を継続・発展、90%未満の項目については、行動計画を修正、再考し対策を練る。)
- ◇学校評議委員会での提示・検討(6月、10月)
- 公開の仕方
 評価結果(成果、課題、顕著な例)を学校だよりやHP、保護者会等で提示する。

次年度

- ◇評価結果や生徒の実態から、来年度の重点目標、行動計画を検討する。
- ◇適切な評価の仕方、公表の仕方についても検討する。